

貸借対照表

2018年12月31日現在

[単位：円]

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	18,000	△ 18,000
普通預金	808,104	258,860	549,244
未収金	0	0	
流動資産合計	808,104	276,860	531,244
2. 固定資産			
特定資産			
基金引当預金	0	5,762,326	△ 5,762,326
特定事業積立資産	8,845,470	2,602,308	600,000
固定資産合計	8,845,470	8,364,634	480,836
資産合計	9,653,574	8,641,494	1,012,080
II. 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
負債合計	0	0	0
III. 正味財産の部			
一般正味財産	9,653,574	8,641,494	1,012,080
(うち特定資産への充当額)	8,845,470	8,364,634	480,836
負債及び正味財産合計	9,653,574	8,641,494	1,012,080

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 計算書類及びその附属明細書の作成基準
一般に公正妥当と認められる会計の基準その他の会計の慣行に従って作成している。
- (2) 消費税等の会計処理
税込方式を採用している。

2. 貸借対照表に関する注記

- (1) 特定資産の増減額及び残高は次のとおりである。 [単位：円]

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金引当預金	5,762,326	0	5,762,326	0
特定事業積立資産	2,602,308	6,243,162	0	8,845,470
合 計	8,364,634	6,243,162	5,762,326	8,845,470

- (2) 特定資産
公益支出目的計画の実施が平成29年度をもって完了したため、定期預金を特定事業積立資産に統一する。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、「計算書類に対する注記2（（1）特定資産の増減額及び残高）」に記載のとおりである。